

## 溶接学会若手会員の会 第 62 回運営委員会開催報告

副委員長 鳥形 啓輔 (株式会社 I H I) ・ 嶋田 駿 (東北大学)

Report of the 62nd meeting of the WELNET steering committee

by TORIGATA Keisuke and TOKITA Shun

### 【概要】

溶接学会若手会員の会 運営委員会は、全国大会期間中に開催されるのが通常であるが、今回は新型コロナウイルス感染症の流行拡大による春季全国大会の中止を受け、メーリングリストを活用した資料配信、メールによる決議ならびに検討事項に関する回答を行う形での開催となった。

日時：－ (資料配信は 4 月 22 日)

場所：－

資料：

welnet62-0 議案

welnet62-1 第 61 回溶接学会若手会員の会運営委員会  
議事録

welnet62-2 2019 年度活動報告

welnet62-3 2020 年度活動計画

welnet62-4 新体制案

welnet62-5 会計

welnet62-6 全国大会イベント

welnet62-6 全国大会イベント 別紙

welnet62-7 編集 資料 1

welnet62-7 編集 資料 2

welnet62-8 広報 ML

welnet62-9 研究会・施設見学会

welnet62-10 勉強会

welnet62-11 出前講義

welnet62-12 回答シート

### 【審議・報告事項】

1. 第 61 回溶接学会若手会員の会 運営委員会議事録の確認・承認  
嶋田副委員長より、welnet62-1 に基づき第 61 回溶接学会若手会員の会運営委員会議事録(案)の報告がなされた。

本議事録はその後の決議により承認された(運営委員数:39 に対し、承認:27、委任:3、無回答:9)。

### 2. 2019 年度活動報告

荻野委員長より、welnet62-2 に基づき 2019 年度の活動報告について説明がなされた。2019 年度に実施された、春季全国大会フォーラム、秋季全国大会ポスターセッション、若手研究者による出前講義、研究会・施設見学会、グローバルネットワーク活動の概要が紹介された。

### 3. 2020 年度活動計画

庄司次期委員長より、welnet62-3 に基づき 2020 年度の活動計画について説明がなされた。

新型コロナウイルス感染症の流行拡大による春季全国大会の中止に伴い、例年実施しているイブニングフォーラムは中止となった。2021 年度の春季全国大会で同形式(ショートプレゼン[2 分/人]+ポスター発表[60 分])での開催を予定することとした。また、本運営委員会開催時点では、秋季全国大会ポスターセッションは例年通り開催する計画である。

### 4. 2020 年度-2021 年度新体制案

庄司新委員長より、welnet62-4 に基づき 2020 年度-2021 年度の運営体制について説明がなされた。新委員長は溶接学会理事会の承認を得て正式に承認となる。その他、新副委員長として鳥形(株式会社 I H I)および各担当の案が提示された。新体制案はその後の決議により承認された(運営委員数:39 に対し、承認:27、委任:3、無回答:9)。なお、2020 年度の委員継続について、一部未確認、回答保留もいるため各担当は暫定的なものであり、適宜変更される。

## 5. 会計

会計担当の山下委員より、welnet62-5に基づき2019年度（2019年3月1日から2020年2月28日）の一般決算報告、グローバルネットワーク活動（以下、GNと記す）決算報告、および2020年度（2020年3月1日から2021年2月28日）の一般予算案、GN予算案について説明がなされた。

2019年度は、一般では約80万円の収入があり、約60万円の支出であった。運営委員会での旅費や、春季全国大会フォーラムでの旅費（講師）および勉強会や出前講義での謝金（講師）が想定を下回ったため、全体として予算を下回る実績となった。GNでは約30万円の収入があり、約30万円の支出であった。2019年7月4日から6日にハンガリー・ブダペストにおいて開催されたYPIC2019に委員1名を派遣したため、国際会議参加費および旅費を支出した。

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、2020年度の活動計画には不確定な部分が多いが、2020年度は勉強会のweb開催など、感染リスクの低いイベントの開催方法を模索し、若手会員の会の趣旨にかなった活動を展開して有意義に予算を使用していく計画である。

## 6. 全国大会イベント

全国大会イベント対応担当の瀧田委員より、welnet62-6に基づき2019年度の活動報告および2020年度の活動計画について説明がなされた。2019年度にポスター賞の選考方法の見直しを実施しており、2020年度に計画している秋季全国大会ポスターセッションでは、新たに提案した選考方法を試行する予定である。

## 7. 編集

編集担当の笠野委員より、welnet62-7に基づき説明がなされた。学会編集委員（若手担当）の特集記事、スポットライト記事、じょうほう通の各記事について、実績と今後の計画が紹介された。また、溶接学会誌 若手編集記事の新企画提案について説明がなされた。新規記事のコンセプトは「次世代の若者と溶接分野をつなぐ、若手ならではの発想に基づいた記事」であり、企画段階ではあるものの複数の記事案が紹介された。記事案に対して、他の委員からは肯定的な意見が多く寄せられた。一方で、「掲載媒体が溶接学会誌では、溶接に興味がない人達に記事を読んでもらえないのではないか」、「溶接学会誌に掲載するだけでなく、Webやその他掲載可能な誌面も検討してはどうか」といった課題や新たなアイデアも寄せられた。

## 8. 広報・ML

広報・ML担当の劉委員より、welnet62-8に基づき説明がなされた。メーリングリストの現状として、配信数の実績が示された。

## 9. 研究会・施設見学会

研究会・施設見学会担当の古免委員より、welnet62-9に

基づき2019年度の活動報告および2020年度の活動計画について説明がなされた。2019年度は、7月19日に住友重機械工業株式会社様のご協力により第1回研究会・施設見学会を、11月13日に菊川工業株式会社様のご協力により第2回研究会・施設見学会を、1月16日に日鉄エンジニアリング株式会社様ならびに株式会社リージェンシー・スチール・ジャパン様のご協力により第3回研究会・施設見学会を開催した。

2020年度の活動計画については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、未定であることが報告された。

## 10. 勉強会・出前講義

勉強会・出前講義担当の鴫田委員より、welnet62-10およびwelnet62-11に基づき2019年度の活動報告および今後の勉強会の進め方の提案について説明がなされた。2019年度は、第1回研究会・施設見学会に併せて「若手の会活動内容と今後について」を議題にフリーディスカッションを開催した。出前講義は計3回開催され、各回の概要について報告がなされた。

今後の勉強会の進め方の提案では、勉強会テーマの選定や参加者の募集の手順について説明がなされた。また、新型コロナウイルス感染症の流行拡大を受け、ビデオ会議アプリを活用した勉強会のweb開催についての提案があり、発表資料の公開範囲設定など、今後検討が必要な課題についても示された。対面での勉強会は11月以降を予定している。出前講義については、新型コロナウイルス感染症の終息後に開催を検討することが報告された。